

株主の皆様へ

株主の皆様には、格別のご高配を賜わり厚く御礼申しあげます。当社グループの平成25年3月期第1四半期の業績をご送付申しあげます。

欧州債務問題の深刻化や中国経済の減速などを背景に世界経済の先行きへの不透明感は依然として強く、当社グループを取り巻く事業環境は、当面厳しい状況が続くものと予想されます。

この度、今年度の業績見通しと中間配当の方針を発表いたしました。残念ながらその内容も厳しいものとなりました。この状況を踏まえ、当社グループにおいては、足下での収益改善を喫緊の課題と認識し、全部門において、あらゆる方策を講じて利益とキャッシュフローの最大限の上積みを図り、財務体質・競争力の強化に取り組んでまいります。

また、中長期経営ビジョンで掲げたグローバル展開など将来の成長のための取組みを継続するとともに、外部環境が変化した中で、ビジョンの実現に向け、いま何をすべきか、という視点をもって、企業価値のさらなる向上に取り組んでまいります。

経営資源を得意分野に集中し、当社の強みである複合経営にさらに磨きをかけてまいりますので、株主の皆様には引き続き、変わらぬご支援を賜わりますようお願い申しあげます。



代表取締役社長

佐藤 廣士

平成24年8月

●株式のお預け先をご確認ください。

証券会社にお預けになっていない当社株式は、三菱UFJ信託銀行にある「特別口座」にて管理しております。「特別口座」では単元株式の売買はできません。証券会社の口座へ移管されることをお奨めします。

※「特別口座」とは、平成21年1月の株券電子化の際に、証券会社に預けられていない株式を管理するために、当社が開設した口座のことです。

○「特別口座」で管理されているかどうかの確認方法

以下の場合であれば、「特別口座」で管理されている株式があります。

- ・株券がお手許にあって、証券会社に移管の手続きをしていない場合
- ・証券会社に預けている株式を全て処分したのに会社から通知が届く場合
- ・証券会社に預けている株式数と、会社からの通知に記載されている株式数が異なる場合
(その差の株式が、「特別口座」にて管理されている場合があります。)

※なお、株券がお手許になくても、株式が「特別口座」にて管理されている場合があります。お手許に株券がない場合でもご確認をお願いいたします。

<「特別口座」に関するお問い合わせ先>

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

Tel.0120-094-777 (通話料無料 土日祝日を除く9:00~17:00受付)

●株主様工場見学会について

本年6月下旬にご案内した株主様工場見学会には、約1,100名の株主様からのご応募をいただきありがとうございました。募集人数を超えたため、ご案内のとおり、抽選とさせていただきます。ご理解を賜わりたく存じます。

なお、8月末に、当選者の方にはご案内状を、抽選に漏れた方にはその旨のご通知を発送いたしますので、ご通知の到着までしばらくお待ちください。

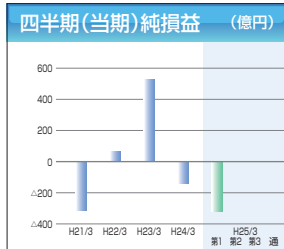
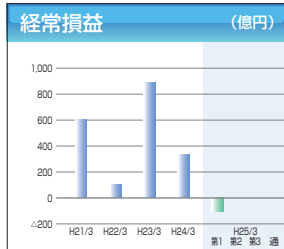
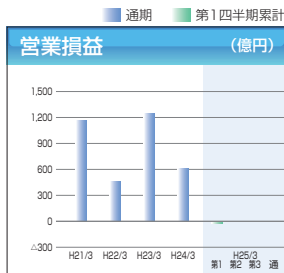
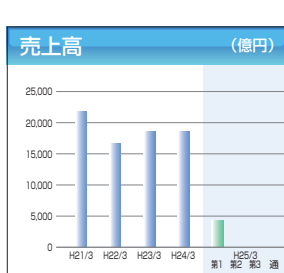
平成25年3月期第1四半期（連結）の概況

経営成績

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、震災からの復旧・復興に伴う需要の増加や景気刺激策の効果などを背景に、緩やかながら回復基調をたどりました。海外では、欧州における金融不安を背景に、中国での景気拡大、及び米国での景気回復のペースは減速傾向が継続しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、鋼材やアルミ圧延品の販売数量は、国内需要が堅調に推移したものの、鋼材海外市況の低迷や円高の影響により輸出環境が悪化したことなどから、前年同期並となりました。油圧ショベルの販売台数は、震災からの復旧・復興に伴い国内需要が増加し、東南アジアにおいても需要は堅調に推移したものの、主力市場である中国における金融引き締めの影響が大きく、前年同期を下回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ372億円減収の4,341億円となり、営業損益は、前年同期に比べ318億円減益の27億円、経常損益は、前年同期に比べ344億円減益の104億円の、それぞれ損失となりました。また、四半期純損益は、これらの影響に加え、投資有価証券評価損を特別損失として計上したことなどから、前年同期に比べ420億円減益の322億円の損失となりました。



売上高**4,341** 億円**営業損益****△27** 億円**経常損益****△104** 億円**四半期純損益****△322** 億円

※矢印は前年同期比

事業部門別売上高情報

事業部門（セグメント）別の状況は以下のとおりです。

詳細につきましては、当社ホームページ「株主・投資家の皆様へ」に掲載の平成25年3月期第1四半期決算短信をご覧ください。

鉄鋼事業部門**1,922** 億円**神鋼環境ソリューション****136** 億円**溶接事業部門****213** 億円**コベルコ建機****801** 億円**アルミ・銅事業部門****719** 億円**コベルコクレーン****95** 億円**機械事業部門****397** 億円**その他****139** 億円**資源・エンジニアリング事業部門****71** 億円**調整額****△156** 億円

調整額は各事業間の内部売上高等の消去額です。

※矢印は前年同期比

平成25年3月期の連結業績予想

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(%表示は前期比)

	平成24年3月期 実績	平成24年7月30日 発表値	差異
売上高	18,646億円	18,100億円	△546億円 △2.9%
営業利益	605億円	250億円	△355億円 △58.7%
経常損益	337億円	△100億円	△437億円 —
当期純損益	△142億円	△450億円	△308億円 —
1株当たり当期純損益	△4円74銭	△14円99銭	

上記の連結業績予想は、発表日における予想数値です。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

配当状況

	1株当たり配当金 (円)			配当金総額 (年間) (億円)	配当性向 (年間) (%)	純資産 配当率 (年間) (%)
	中間期末	期末	年間計			
平成25年3月期	0.0	未定	未定	—	—	—
平成24年3月期	1.0	0.0	1.0	30	—	0.6
平成23年3月期	1.5	1.5	3.0	90	17.0	1.7
平成22年3月期	0.0	1.5	1.5	45	71.4	0.9
平成21年3月期	3.5	0.0	3.5	105	—	1.9

※配当性向については、各期の当期純損益が損失の場合、もしくは年間配当金額が未定の場合「—」と表記しております。

※平成25年3月期の中間配当については、財政状態、業績の動向、先行きの資金需要等を総合的に勘案し、見送らせていただく方針を決定いたしております。

(表示単位未満は切り捨てております。)